

# さつきまつり

楽しいイベント盛りだくさん。  
おいでよおいでよ花と緑のお祭りへ！



日時：5月18日(土)～6月9日(日)  
午前9時～午後5時30分  
会場：花とみどりのシンボルゾーン

同時開催

- ◎ 第8回アマチュア作品展 (5月26日(日)～6月2日(日))
- ◎ 会員展 (5月18日(土)～25日(土))
- ◎ 花・はな講習会「お部屋のインテリアガーデン」  
(5月25日(土) 午後1時30分より)

参加費は無料ですが、材料費を約2,000円ご負担願います。

## 植木盆栽まつりも好評開催中！

5月12日まで

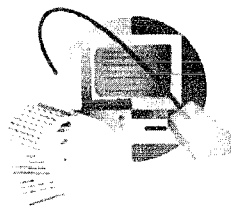
- ◎ 花と植木と盆栽の展示即売 (5月12日まで)
- ◎ 山野草展 (5月3・4・5・6日)
- ◎ 花の苗プレゼント ドーンと2,000鉢 (5月3・4・5日)
- ◎ 町の特産品販売 (5月3・4・5日)
- ◎ 母の日カーネーションプレゼント200名様 (5月11・12日)
- ◎ 押し花体験教室 (5月3日)

問い合わせ先

小須戸町役場 産業課  
☎ 38-3111 (内255)  
花とみどり館  
☎ 38-5430

## 住民基本台帳 ネットワークシステムで ひらくIT社会

全国の市区町村の住民基本台帳と  
都道府県・指定情報処理機関を  
ネットワークで結び、  
電子政府・電子自治体の基盤をつくります。



— 住民票コードは無作為に抽出された番号で、  
請求により変更が可能です。また、民間部門での  
住民票コードの利用は禁止されています。 —

総務省・指定情報処理機関(地方自治情報センター)  
<http://www.lasdec.nippon.net.ne.jp/rpo/juki-net.top.htm>

### 平成14年8月以降順次実施

各種行政手続の住民票の写しの添付が、不要となります。

さらに将来は…

インターネット申請に際し住民票の写しの添付に代わる役割を果たします。

### 平成15年8月実施予定

全国どこの市区町村でも住民票の写しの交付が受けられます。

住民基本台帳カードでいろいろなサービスが受けられます。

住民基本台帳カードを持っている方は、転入転出時に窓口に行くのが一回ですみます。

住基ネットを運営するため、平成14年8月、住民票コードを住民の皆様へ通知します。  
個人情報保護に万全を期しつつ、IT社会に対応するため住基ネットを構築していきます。

# さあ 始まりましたよ！ 完全学校週5日制！！

いよいよ4月から、毎週土曜日を休みとする「完全学校週5日制」が全国の学校で始まりました。

子どもたちの学校外での時間が増え、家庭や地域での教育の機会がこれまで以上に重要になります。

学校の授業も、ゆとりの中で、子どもたち一人一人の「生きる力」を育てるために、教育の内容が変わります。



## 新時代の教育の現場は 家庭と地域と学校が主役です

この四月一日から学校は完全に週5日制になりました。

このたびの教育改革で「学校はどう変わるか、そして家庭や地域は何をしなければならぬか」について、小須戸町教育委員会として、「家庭や地域の教育力や共同体意識が低下している日本の社会の在り方を問い直す機会にしなければならぬ」と考えています。

まず第一に、学校では新しい学習指導要領に基づいて従来の各教科の学習内容の約三分の一が削減されます。それによって基礎・基本を確実に身につくような指導を行います。これまでは、ともすると児童・生徒は受身で、詰め込み型の教育に陥りがちであったものを、視点を変えて基礎・基本を身につけた上で、「考える力」をもった本物の学力に結びつける「わかる学習」と「ゆとりのある授業」の展開が期待できます。さらに「総合的な学習の時間」が新設され、各教科の学習と関連づけられて広がる教育が展開されて

す。従来の学校教育が変わります。教育のあり方が変わらなければならぬ時代になった訳です。

次に、家庭教育のあり方を考え直していかなければなりません。以前は各家庭には必ず「すり鉢とすりこぎ」がありました。台所で母や祖母が子供や孫に「すり鉢」をおさえさせながら「ま和えを作ったり、豆腐の白和えなどを作ってくれたものです。そんな時に「すりこぎ」を動かしながら母や祖母との対話があったものです。家庭での対話やお手伝いの中から人としての生き方のルールや社会性を知らず知らずのうちに身につけたものです。家庭が教育の原点であると言われる理由がここにありま

す。新しい時代の教育は家庭から始めようではありませんか。そして家事などの分担を通して、家庭の一員としての自覚と生活体験を存分にさせていただきたいと思えます。

第三に、地域の教育力をつけていただくということです。土曜日と日曜日をどのように過ごすか、どうしてそうすることがいいのかについて、子供を交えて家庭でよく話し合い、「我が家の学校週5日制の有効な活用術」を見出し、いくとが大切と考えております。

その際、特に大人が「地域の一員」としてのものの考え方や行動がどれだけ出来るか、このことが重要と受け止めています。「心の触れ合いと支えあい」のある地域づくりを親自身が大切と受け止め、出来る範囲で参加する。出来れば積極的に参加していくことが子供に「人とともに生きる」とか、「社会規範を身につける」姿勢を培っていくことにつながると考えています。

この意味で、学校週5日制がうまくいくかどうかは「大人の自覚と行動にかかっている」と考えています。

小須戸町教育委員会では、学校の開放・公民館の開放・スポーツ少年団の開放をはじめ、自然体験行事の実施など将来に向けて子供たちの居場所作りや参加の可能性を探るために「五日制委員会」を立ち上げました。

今後、具体的な対応策を講じていきたいと考えております。

小須戸町教育委員会